

57 アカアシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa totanus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパからアジア中部などで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。個体数は少ない。干潟や河口、河川、水田、ため池、ハス田などの内陸の湿地に生息する。泥中の昆虫類の幼虫や甲殻類などを採食する。



写真提供: 友田達也

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、福崎町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-10月に記録がある。1960年代までは県南部で比較的多く記録されたが、1970年以降減ってきている。ただし、1968年4月に加古川市尾上で8羽の記録もあるが、多くは単独か数羽の小群である。近年は生息地の多くが消滅したため、記録も少なくなっている。県北部でも少ないが記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。